

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース

### 講道館鏡開式



### 合気会鏡開き式



## 講道館鏡開式

# 知恵と工夫で難局克服

## 上村館長が年頭挨拶

講道館鏡開式が1月10日、新型コロナウイルス感染症防止のため参加者を限定し、講道館大道場で行われた。

当日は、感染防止のため参加人数を制限した上で、マスク着用や検温、手指の消毒が徹底された。また、観覧席は前後左右に1メートルの間隔を空けて設置され、ソーシヤルディスタンスが確保された。

式は午前10時に始まり、初めに講道館員を代表して小野沢弘史八段が「昨年は医学専門家<sup>おのぞうし</sup>の知見を得ながら感染拡大防止に努め、コロナ禍でも夏期講習会や全国柔道高段者大



年頭の挨拶を述べる  
上村春樹館長

会などの各種行事を実施することができました。そして、平和だからこそ柔道が存分にできること、健全で豊かな人間性を育む大切さなど、柔道の原点に回帰しました。嘉納師範の理念と思想を受け継ぎ、講道館柔道の研究、普及、発展に傾注することを誓います」と賀詞を述べた。

次に、上村春樹講道館館長より年頭挨拶があった。

「鏡開式は講道館が創始されて間もなく始まった歴史と伝統のある重要な行事の一つです。新年を祝い、館員の一年の無病息災を祈るのが趣旨です。昨年から世界中で困難な状況が続き、柔道界でもいろいろなことが起きました。講道館も一時、閉館を余儀なくされ、今もマスクを着けたままで練習を行っています。しかし、我々は教育としての柔道、人づくりとしての柔道をやるわけにはいきません。感染症対策を十分に行

い、皆で知恵を出し、工夫してこの修行に取り組まねばなりません。嘉納師範の遺訓に立ち返り、地道ながらも確実に『精力善用』『自他共栄』の実践に努め、柔道の正しい普及・振興、そして後世に正しく柔道を伝えていく責務を果してまいりたいと考えております。コロナの早期収束、オリンピック・パラリンピックの開催と成功、そして皆様にとって良い年となりますことをお祈り申し上げます」

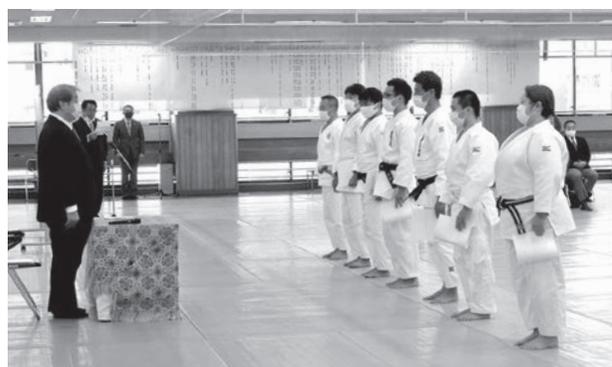


小野沢弘史八段による講道館員代表挨拶

その後、7種の形の演武が披露された。例年、形の後に行われていた全日本強化コーチ・選手と修行者との乱取は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施が見送られた。

昇段発表証書授与では、上村館長から昇段した各段位の代表者に証書が手渡された。なお、感染対策のため、恒例のしるこ会は中止となり、代わりに来場者へ持ち帰り用の紅白饅頭<sup>まんじゅう</sup>が振る舞われた。

(文・写真〓講道館)



昇段発表証書授与式

披露された形演武



「古式の形」



「講道館護身術」



「固の形」



「柔の形」



「投の形」

■形演技者

◇投の形Ⅱ取・仮屋力六段、受・藤中拓馬四段

◇固の形Ⅱ取・平野弘幸七段、受・鮫島康太五段

◇極の形Ⅱ取・南保徳双六段、受・島山洋平五段

◇柔の形Ⅱ取・灰原茉美女子五段、受・秋山日向子女子四段

◇講道館護身術Ⅱ取・向井幹博七段、受・山本三四郎七段

◇五の形Ⅱ取・鮫島元成八段、受・下山陽邦六段

◇古式の形Ⅱ取・道場良久八段、受・眞喜志慶治七段

日本武道館の単行本

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ!

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



空手道 その歴史と技法



小山正辰 和田光二 嘉手苺徹 著  
空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

四六判・上製・568頁・本体2,400円+税

幸せについて考えよう



—武道指導者へのメッセージ  
元衆議院議員・榎樹舎舎主 小野晋也 著  
混迷の時代・社会において、幸福な人生とは何か。一人ひとりが、そして社会全体が前向きに歩んでいくため、に必要な事は…。先人の言葉や古今東西の幸福論に触れながら、様々な困難を乗り越え、切り開くためのヒントを「武道」の精神に求めた出色の一冊。

四六判・上製・392頁・本体2,400円+税

学校武道の歴史を辿る



筑波大学名誉教授 藤堂良明 著  
江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

四六判・上製・354頁・本体2,400円+税

合気道に生きる



合気道九段 多田宏 著  
昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。

四六判・上製・402頁・本体2,400円+税

## 合気会 合気道本部道場鏡開き式

# コロナ禍で粛々と実施

公益財団法人合気会の本部道場鏡開き式が1月10日、東京都新宿区の本部道場で行われた。本年は新型コロナウイルス感染症防止のため、参加者を各段位昇段代表者と合気会職員のみとし、オンラインで配信した。

式は午後2時に始まり、植芝守央うゑしばしほむつる合気道道主が年頭の挨拶に立ち、「新型コロナウイルス感染症により世界中が翻弄され続けながら新しい年を迎えましたが、私たちははしつかりと歩んでいかなければなりません。例年ですと約1千人の方々が集う中で鏡開き式ですが、今年は残念なが



年頭の挨拶を述べる  
植芝守央合気道道主

らそういうわけにはいきません。しかし、奉納演武、昇段免許授与式をオンラインで世界中に配信し、より多くの方々にこの鏡開き式をご覧になっていただくという形を取りました。新しい年をより良く、希望に満ちた年にしていくために深く物事を考えながら前に向かって歩んでいかななくてはなりません。そのためには日頃の稽古を通じて養った和合の心、お互いを尊重し合う心で培った絆きずなを大切に、互いに支え合って今年もしっかり前へ向かって進んでまいりましょう」と述べた。

次に植芝充央うゑしばみつる本部道場長による奉納演武が行われた。その後、推薦昇段者発表及び証書授与式が行われた。初段から七段までの各段位昇段者の代表者と八段昇段者の谷正喜氏たにまさきに植芝道主より証書が授与された。授与式の終了後、多田宏本部道場ただひろし師範が挨拶を述べ、本年の鏡開き式は終了した。



昇段代表者への証書授与



植芝充央本部道場長による奉納演武



昇段代表者と記念撮影する植芝道主（前左から2人目）

好評発売中

合気道九段 多田 宏 著

# 合気道に活きる

四六判・上製・402頁・本体2400円＋税

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。

昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。



## 多田 宏 (ただひろし)

昭和4年(1929)12月14日生。東京都出身。早稲田大学第一法学部在学中の昭和25年、植芝道場入門、合気道を始める。植芝盛平先生、吉祥丸先生に師事。同年、天風会入会、中村天風先生に師事。同年、一九会道場入会、日野正一先生に師事。昭和27年早稲田大学卒業。合気道の稽古と日本武道の歴史研究を専門とする道に進む。合気道本部師範・防衛庁師範を務め、慶應義塾・学習院・早稲田の各大学合気道会設立に尽力、師範となる。昭和39年渡欧し、欧州各国での合気道普及に尽力。イタリア合気会を創設。現在、合気会本部師範、早稲田大学大合気道会名誉師範、東京大学合気道会錬会名誉師範、イタリア合気会主任教授、国際合気道連盟委員など。また、合気道多田塾を主宰。合気道九段。

## 目次

### 第一章 生い立ち

- 一 原点
- 二 幼稚園から小学校時代
- 三 第一東京市立中学校

### 第二章 師との出会い

- 一 松濤 船越義珍先生
- 二 植芝盛平先生・吉祥丸先生
- 三 中村天風先生

- 四 鉄叟日野正一先生・みちゑ先生

### 第三章 生き方の方針

- 一 植芝道場 先輩の教え
- 二 命の基を訪ねて
- 三 一生の方針を定める

### 第四章 植芝盛平先生の教えと稽古

- 一 気の錬磨
- 二 合気道の心
- 三 心学の道、心法の道
- 四 稽古と法

- 五 稽古の目的、人の生き方

- 六 「機」について

- 七 錬る

- 八 自然な動き

### 第五章 合気道の普及

- 一 合気道の発展
- 二 「氣の流れ」の錬磨
- 三 ヨーロッパの合気道
- 四 合気道の国際的普及
- 五 氣の流れと縁

### 第六章 呼吸法(調氣の法)

### 終章 稽古を顧みる

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。